



理念	現場運営	知識	合計
/15	/15	/70	/100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

＊漢字間違い△ 送り仮名間違い△ ひらがな○

「法人理念に関する問題」

1. ケアマキスが求める職員像について以下の文章の（ ）にあてはまる語句を記入しなさい（1×3）

- ・ 質の高いケアをめざし、（ ）をめざす人
- ・ （ ）の意識を持ち考える人
- ・ 任された仕事を（ ）をもって遂行できる人

2. ケアマキスでは理念として「変化即動」を掲げており、これは常に環境や状況の変化を見据え、躊躇せず、勇気を持って素早く行動することを目的としています。この考えに基づき次の問題に答えなさい。

（1）特養の入居者 A 様に昼食を提供したところ、「いらない」と拒否されました。詳しい理由を聞きましたが説明はなかったため、昼食拒否の原因を追究しなければなりません。考えられる原因を①介護面②食事環境面の 2 つの観点で 1 つずつ答えなさい（配点 2×2）

①介護面

（例）口腔内に口内炎などのトラブルがあり、食事が食べられない状態。

--

②食事環境面

（例）食事が変わりばえせず、飽きている。

--

（2）A 様の食事拒否が食事に飽きていることが原因だった場合、現在ケアマキスで提供している食事をより良くするためにはどうすべきでしょうか。ご入居者に飽きられないことを重視し、①現在ケアマキスが提供している食事の課題と、②課題を改善するための具体的な改善策を 2 つずつ答えなさい。（配点 2×4）

現在の食事の課題	1) 2)
具体的な改善策	1) 2)



「現場運営管理問題」

1.認知症高齢者の生活支援に関して、下記の事例を読み、問題に答えなさい。

【事例】

佐藤 裕子 様（86 歳・女性） 要介護 1

- ・既往歴／アルツハイマー型認知症 歩行に問題なし 認知症は中度で、その場でのコミュニケーションは可能だが、短期記憶はなく物忘れが激しい。
- ・生活歴／25 歳で結婚し、1 男 1 女に恵まれる。子どもが独立後は一軒家に夫と 2 人で暮らしていたが、3 年前に夫が他界し、1 人暮らしとなる。夫が他界してから、物忘れが目立つようになり、1 年前に病院で検査した結果、アルツハイマー型認知症と診断される。3 年前に介護認定を受け、現在は訪問介護を週 7 回、デイサービスを週 3 回利用している。子ども 2 人は遠方に住み、月 1 回程度様子を見にくるのがやつの状態。電話連絡は定期的にある。

・佐藤様の抱える課題

- ① 薬の飲み忘れ ② 物忘れが多く、騙されないか不安 ③ 食生活の偏り（食事の量や摂取時間に変動がある）

（1）課題①「薬の飲み忘れ」について現状を確認すると、複数の病院で数種類の薬が処方され、毎回いくつかの薬の飲み忘れがあることがわかりました。

提案できる対応策を答えなさい。（配点 1）

（2）佐藤様のように 1 人暮らしの方の認知症が進行するとたちまち日常生活に支障が生じ、対応に苦慮することが多くなります。介護保険のサービスをフル活用していても、サービスを利用していない「すきま時間」に転倒や消費者被害等の問題が発生することも少なくありません。このような課題を解決するために提案できることを答えなさい。

（配点 2） ＊介護保険サービスは不可、介護サービス以外の内容を記入すること。

（3）独居高齢者の食生活が偏ることはよくありますが、独居高齢者に認知症がある場合は好き嫌い以外の要素にも気をつけて支援する必要があります。

佐藤様のように認知症の方の食生活が偏る原因と対策を答えなさい。（配点 2×2）

原因	対策

2. 介護の仕事はチームワークがとても大切です。スタッフのチームワークの良し悪しによって、介護サービスの質が左右されるといっても過言ではありません。

介護におけるチームワークについて、以下の問いに答えなさい。

【問題】今年度に入ってから、特養に入所中の利用者の家族数名より下記意見がありました。

- ①「先週の面会時に、今日の病院受診について伝えていたにもかかわらず、準備がされていなくて困りました」
- ②「父親に病名は知らせてほしくないをお願いしたのに、病名を知っていてびっくりした。誰が伝えたのですか！」
- ③「昨日スタッフ A さんから連絡があったのに、同じ件で本日スタッフ B さんからも連絡があった。忙しいのに迷惑です」

（1）上記のような意見が複数あがってくる施設はチームワークが良くない状態に陥っていることが予測されます。なぜチームワークが良くない状態になっているか仮説を答えなさい。（配点 2）



(2) 良いチームワークを作るためには、チームを引っ張るチームリーダーの存在は欠かせません。あなたが考える介護現場における理想的なチームリーダー像を答えなさい。また今の自分と理想のリーダー像との違いを答えなさい。(配点 2×2)

理想的なリーダー像	
今の自分との違い	

(3) あなたがチームリーダーだとしたら、問題文①～③のような状態をどのように改善しますか。取り組みを 1 つ具体的に答えなさい。(配点 2)

--

＜＜知識問題＞＞

1. 業務内で行う計算について、以下の問い答えなさい。(配点 2×3)

(1) ナトリウム欠乏症予防のため、塩分濃度 0.1%の食塩水で水分補給をする場合、140cc の水分には何 g の食塩が必要か答えなさい。

	g
--	---

(2) 8 時間勤務するスタッフの常勤換算を 1 とします。6 時間勤務した場合の常勤換算を答えなさい。

* 常勤換算とは…その事業所の平均的な勤務人数を示すもの

--

(3) 特別養護老人ホームにおける介護スタッフの人員配置基準は 3 対 1 です。この場合、20 人の入居者に対し、何人の介護スタッフが必要か答えなさい。

* 人員配置基準とは…施設の利用者数に対して配置すべきスタッフ数の基準

	人
--	---

2. 介護従事者の倫理について、下記のようなシチュエーションの際にあなたならどう対応するか答えなさい。(配点 2×3)

(1) 送迎の際に認知症のある利用者に対して、家族が「あなたがいたら困るのよ。早く行って」と強い口調で腕をひっぱる姿を見た。

--

(2) 訪問後に利用者 A さんの家を出た時に、近隣住民から「A さんのことが心配なんだけど、何の病気なの？何の介護サービスを使っているの？」と聞かれた。

--



(3) 訪問した際に「暑い中来てくれてありがとう。アイスクリームを買ってあるから食べていってちょうだい」と言われた。

3. 認知症について下記の事例を読み、以下の問いに答えなさい。(7)

A 様 (88 歳・女性) 要介護 1 長女と同居

トイレや着替え、食事等、身の回りのことは自分でできるが、幻視幻聴があり、時々暴力的になって長女を蹴ったり罵倒したりする。

長女は疲れ切っているが、今は施設入所は考えていない。

(1) A 様の認知症は次の 4 種類の認知症のどの型に最も当てはまるか番号で答えなさい。(配点 1)

【 ①アルツハイマー型 ②脳血管性 ③レビー小体型 ④前頭側頭型 】

(2) A 様があなたに「目の前に子供がいて遊んでいる」と言います。どのように接することが適切か答えなさい。(配点 2)

(3) 介護者のストレスや疲労を軽減することを目的として介護サービスを利用できますが、そのケアの方法を何というか答えなさい。(配点 2)

(4) 長女のストレスを軽減するためにあなたはどの介護保険サービスを利用することが望ましいと思いますか。サービス名を答えなさい。(配点 2)

4. 栄養について、以下の問いに答えなさい。(6)

(1) 栄養素と水分について、不適切なものを 2 つ選びなさい。(配点 1×2)

- ① 炭水化物、たんぱく質、カルシウムを三大栄養素という
② 無機質（ミネラル）は体の調子を整える機能がある
③ 炭水化物は体を活動させるエネルギーとなる
④ 人が生きていくために必要な摂取量は、1 日約 1500ml とされる
⑤ 水分の排出量は摂取した量とほぼ同量である

--	--

(2) 低栄養状態について、下記の空欄に適切な説明を入れなさい。(配点 2×2)

①低栄養になると起こる症状	体重が減る、筋肉量・筋力が低下する、活力がなくなる 病気になりやすくなり、治りにくくなる
②低栄養になる原因	例：栄養価のバランスが悪い
③低栄養を改善する方法	例：栄養バランスの整った食事を提供する

5. 介護保険制度について、適切な語句を下記の語群からアルファベットを選び、() 内に記入しなさい。(配点 1×5)

介護保険とは、(①) が保険者となり、(②) 以上の介護保険料を支払っている住民が被保険者となる。

介護保険サービスを利用するためには、要支援・要介護認定を受ける必要があり、自宅などにおいて(③) を受け、その内容を持って(④) で要支援・要介護を決定する。

要支援・要介護認定が決定すれば、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所で契約をし、(⑤) の交付を受けることにより、サービスを利用することができる。

A : 40 歳 B : 60 歳 C : 65 歳 D : 市町村 E : 都道府県 F : 現物 G : 現金 H : 介護認定審査会 I : 家屋評価 J : 認定調査
K : ケアプラン L : 指示書



6. 脳梗塞について下記の事例を読み、以下の問いに答えなさい。(8)

B 様 (70 歳・男性) 要介護 3

脳梗塞の後遺症によって右半身麻痺。普段は車いすを使用して移動するが、膝折れがあり、立ち座り時の転倒リスクが高い。

脳梗塞を発症するまでは歌うことが趣味で、家族や友人とよくカラオケに行っていたが、言葉が出にくくなった事からカラオケに行くことがなくなり、外出する機会が減っている。

閉じこもりを心配した家族とケアマネジャーがデイサービスを提案し続け、最初は嫌がっていたがなんとか体験利用だけはすることになった。

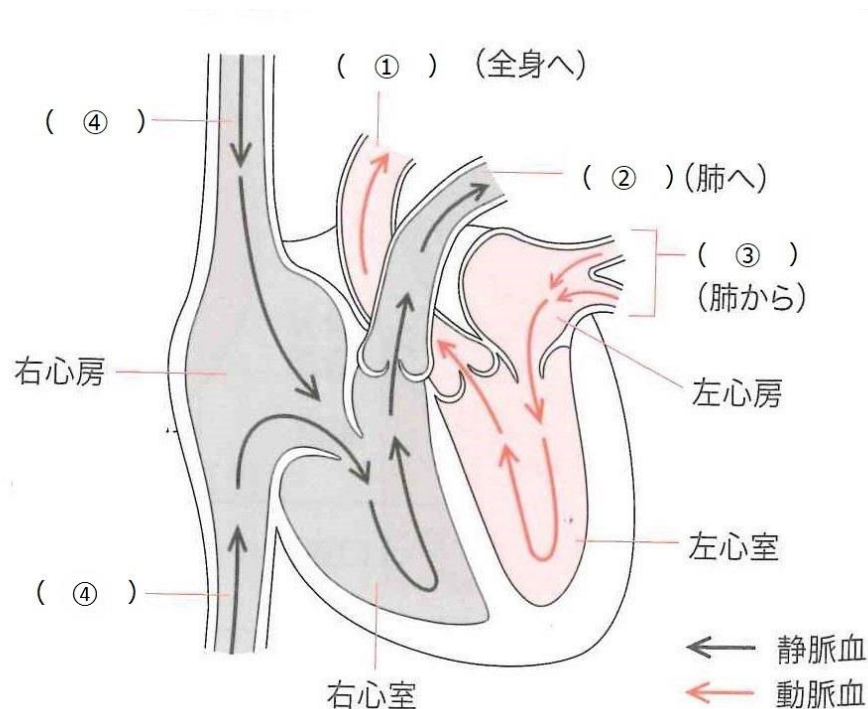
(1) 脳梗塞等によって言葉が出にくくなる障害のことを何というか答えなさい。(配点 2)

(2) B 様がデイサービスの利用を嫌がる理由としてどのようなことが考えられるか答えなさい。(配点 2)

(3) あなたはデイサービスの介護スタッフです。B 様が今後もデイサービスを利用して下さるよう、体験利用の際にあなたならどのような工夫をするか答えなさい。(配点 2)

(4) 脳梗塞の再発防止のため、デイサービスで利用中に気をつけなければならないことを答えなさい。(配点 2)

7. 身体の仕組みについて、下記の図の () に入る語句を語群から選んで答えなさい。(配点 1×4)



① ()

② ()

③ ()

④ ()

房室弁 ・ 僧帽弁 ・ 肺静脈 ・ 大動脈 ・ 肺動脈 ・ 大静脈

8. 感染症対策について、下記の問いに答えなさい。(4)

(1) 感染症に関する記述のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。(配点 1×2)

- ① 飛沫感染とは、咳やくしゃみの飛沫が鼻や口などから体内に入ることによって起こる感染症である。
- ② ノロウイルスの消毒は、アルコール消毒で効果がある。
- ③ 高齢者がインフルエンザを発症した場合、肺炎を併発する事も多く注意が必要である。
- ④ 感染症対策として、手洗い時に消毒液に手を浸して行うのが効果的である。
- ⑤ インフルエンザの予防接種と新型コロナワクチンの同時接種は禁止されている。



11. コミュニケーションについて答えなさい。(6)

(1) コミュニケーションについて、不適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

--	--

- ① コミュニケーション技法の「傾聴」とは、相手の言葉を妨げないでじっくり聴くことである。
- ② コミュニケーションをとるときは、相手の発言が正しいかどうかを評価するのではなく、まずは発言をそのまま受け止めるのがよい。
- ③ 「なぜ」「どうして」を多用することで、相手の発言をしっかりと理解することができる。
- ④ クローズクエスチョンとは、「はい」「いいえ」で答えられる質問のことである。
- ⑤ 「非審判的態度」とは、利用者の感情表現を大切にしよう意図的に関わることである。

(2) 症状別のコミュニケーションについて、下記の有効なコミュニケーションと取り方に当てはまる障害名を語群の中から選び、アルファベットで答えなさい。(配点 1×4)

有効なコミュニケーションの取り方	障害名
① 筆談：会話の内容を紙に書く	
② 絵や写真などを活用する	
③ 五十音表、閉じられた質問を活用する	
④ ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーション	

a:感覚性失語症 b:運動性失語症 c:視覚障害者 d:構音障害 e:嚥下障害 f:更年期障害 g:中途失聴者 h:統合失調症 i:うつ病

12. 下記の福祉用具の名称を答えなさい。(配点 1×4)



(①)



(②)



(③)



(④)